



丹波2050地域ビジョン
「たんばユース躍動プロジェクト」

丹波の「もりびと」 になろう！ 参加者募集

みんな
集まれ！



人工林における林床植生の再生
【丹波の森公苑】



鳥類の生息環境の再生
【ささやまの森公園】

ネイチャーポジティブに
向けて



林床や草地における昆虫相の再生
【丹波並木道中央公園】
【丹波年輪の里】



このプロジェクトは、高校生・大学生・社会人などを対象として、丹波の森を見守る次世代チャレンジャーの育成を目的としています。

丹波地域の各県立施設の特性や取組みを活かして、ネイチャーポジティブ（自然再興）に向けた、中・高校・大学生、行政職員、会社員のための実習プログラムです。（※一部親子対象）

〈人工林における林床植生の再生〉 (@丹波の森公苑)

- 7月11日(土) 10時~15時: シカの食害による植生の変化を知る
「森の成り立ちと植物の見分け方」「丹波の森公苑内での試験区の視察」など
(講師: 藤木 大介) ※参加費 無料
- 7月26日(日) 10時~15時: 食の恵みから野生動物の捕獲と食資源化を考える
「シカ問題を『食べる』から考える」「ジビエ料理の体験と試食」など
(講師: 横山 真弓・藤本 裕昭・福井 佑実子) ※参加費 2,000円
- 9月27日(日) 10時~15時: 動物の行動と生態を知る
「野生動物の生息状況の調査方法」「撮影データの分析」など
(講師: 高木 俊) ※参加費 無料
- 10月17日(土) 10時~12時: 森の現代的役割を考える
「森が有する現代的役割と保全・活用方法」など
(講師: 上甫木 昭春) ※参加費 無料



〈鳥類の生息環境の再生〉 (@ささやまの森公園) ※参加費 無料

- 5月31日(日) 10時~15時: 田端敬三氏の講義と全体ガイダンス
「多様な鳥類の生息のための森林環境の再生」講義及び植生調査など
- 6月~9月: 鳥類の生息状況と生息環境のフィールド調査
 - 🐦 第1回調査 6月14日(日) 9時~15時
 - 🐦 第2回調査 7月19日(日) 9時~15時
 - 🐦 第3回調査 8月23日(日) 9時~15時
 - 🐦 第4回調査 9月20日(日) 9時~15時
- 10月4日(日) または25日(日) 9時~12時: フィールド調査の発表会
「高校生による発表」と「講評」

内容(毎回)

9時~12時 野鳥・植生調査など
13時~15時 水生生物調査など

〈林床や草地における昆虫相の再生〉 ※このプログラムは親子対象です。

(@丹波並木道中央公園及び丹波年輪の里)

- 8月5日(水) 18時~22時: 雨天の場合→翌6日(木)に延期
夜の昆虫観察(ライトトラップ) @丹波並木道中央公園
「夜の昆虫を調べる」(担当: 吉田峰規) ※有料
- 9月22日(火・祝)・23日(水・祝) 10時~15時
いどうこんちゅうかん @丹波並木道中央公園
「丹波並木道中央公園の昆虫を見る・触る」
(担当: 八木 剛、NPO法人こどもとむしの会) ※有料
- 10月24日(土) 10時~15時: 雨天の場合→翌25日(日)に延期
昆虫大捜査線 @丹波年輪の里
「年輪の里の昆虫を探す・触る」(担当: 八木 剛、NPO法人こどもとむしの会) ※有料

親子対象
プログラム



講師紹介

(登場順、敬称略)

人工林における林床植生の再生

藤木 大介 (フジキ ダイスケ)

博士(農学)。兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授。兵庫県森林動物研究センター主任研究員を兼務。専門は森林生態学。植物と動物（主にニホンジカ、ツキノワグマ）の関係を解明することで、よりよい生態系の管理のあり方を模索している。

横山 真弓 (ヨコヤマ マユミ)

博士(獣医学)。兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授。兵庫県森林動物研究センター研究部長を兼務。専門は野生動物管理学。主に人と軋轢の多いツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシを対象に行動特性や栄養状態に関する研究を行い、人と野生動物の共存に向けた仕組みづくりを行っている。

藤本 裕昭 (フジモト ヒロアキ)

NPO法人里山グリーンネットワーク。専門学校を経て調理師として飲食業界に従事。後に地元山南町で開業した焼き鳥店のメニューに(株)丹波姫もみじの鹿肉をとり入れたことがきっかけとなり、現在はNPO活動として鹿の有効活用、並びに鹿肉普及に取り組む。

福井 佑実子 (フクイ ユミコ)

株式会社立プラスリジョン 代表取締役。農林水産省施策農山漁村発イノベーションプランナー、有機JAS検査員、IFOAM Organics ASIA (国際有機農業運動連盟 アジア支部) 元理事として国内外の有機農業支援・推進に取り組んでいる。2013年「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」兵庫県知事賞受賞

高木 俊 (タカギ シュン)

博士(農学)。兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授。兵庫県森林動物研究センター主任研究員を兼務。モニタリングデータの分析からシカやツキノワグマなどの野生動物の個体群動態の推定を行い、動物の生息状況把握や適切な個体数管理にむけた研究を行っている。

上南木 昭春 (カミホギ アキハル)

博士(学術)。大阪府立大学名誉教授。兵庫県立コウノトリの郷公園長。公益財団法人兵庫丹波の森協会丹波の森研究所特任研究員。専門は緑地計画学、地域生態学。地域の自然と歴史を手掛かりに、健全な地域環境の形成のあり方を探る調査研究に取り組んでいる。

鳥類の生息環境の再生

田端 敬三 (タバタ ケイゾウ)

博士(農学)。近畿大学、京都市立芸術大学、武庫川女子大学、奈良県立大学、奈良教育大学、各非常勤講師。専門は森林生態学、緑地保全学。都市域および都市近郊の森林の植生構造の動態、樹木の育成管理に関する調査研究を長期間にわたって行っている。

林床や草地における昆虫相の再生

八木 剛 (ヤギ ツヨシ)

兵庫県立人と自然の博物館事業推進部長。昆虫教育に注力し、NPO法人こどもとむしの会理事・事務局長として佐用町昆虫館の運営も行う。

吉田 峰規 (ヨシダ ミネキ)

株式会社テネラル代表。昆虫少年として幼少期を過ごす。大学在学中に植物や自然の保全・再生や自然のガイドを学ぶ。(公財)日本生態系協会ではピオトープのコンサルティング・自然観察会等を担当。

坂本 貴海 (サカモト タカミ)

兵庫県立人と自然の博物館自然・環境再生研究部コミュニケーション・デザイン研究グループ研究員。

受講申込方法

- ①参加形態 各プログラムの通年参加を優先します。個別参加も可能です。
- ②各プログラムの下記のQRコードを読み取り、申込フォームからお申込みください。
フォームに従って送信してください。
なお、昆虫相のプログラムについては、下記の注意事項をご一読ください。
- ③申込締切 令和8年5月28日（木）

※ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、当事業のみで使用します。

人工林における林床植生の再生



鳥類の生息環境の再生



林床や草地における昆虫相の再生

【注意事項】

親子対象の昆虫相の再生プログラムについては、別途開催の詳細と申込方法のご案内をします。



※「ネイチャーポジティブ」とは… 自然を回復軌道に乗せるために生物多様性の損失を止め、反転させる取り組み

※「丹波の森づくり」とは… 丹波地域の美しい自然、生活空間、文化や歴史、そして地域の営みや交流すべてを丹波の森と表現している

※「丹波のもりびと」とは… 「丹波の森づくり」に関わる人たちの総称

【主催】（公財）兵庫丹波の森協会 【後援】兵庫県森林動物研究センター、丹波篠山市、丹波市
【お問合せ】（公財）兵庫丹波の森協会（担当：上南木、荻野）

TEL:0795-73-0933/FAX:0795-86-8510